

自社データセンターを中核として 最先端のITソリューション事業を展開

コロナ禍にあつて、地域におけるリモートワークやDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進がますます重要視されている。そういったなかで、(株)アイネット(神奈川県横浜市)は自社データセンターを活用したITソリューション事業によって、地域内外の企業のIT環境を下支えしている。その取り組みの概要について、同社DX本部業務統括部セールスサポート室の内海章裕課長に語ってもらった。



フィールドエンジニアとして15年間、パッケージソフトの販売、開発、保守を経験。2015年よりITセキュリティ事業におけるウェブサイト改ざん検知製品の開発、企画、販売に従事。19年に(株)アイネットのセキュリティ担当に就任。同社のセキュリティ事業の立ち上げに携わる。

内海章裕

うちうみ・あきひろ

株式会社アイネット DX本部 業務統括部
セールスサポート室 課長

1970年代から時代にマッチしたITソリューションを提供

当社は横浜市に本社を置き、自社所有の4棟のデータセンターをベースに、主にデータセンター事業とシステム開発事業を手掛けています。その特徴はなんといっても自前のデータセンターを所有していることです。そのおかげで顧客に対して適切な価格で、かつ安定したサービスやソリューションを提供することができています。

当社の設立は今から50年前の1971年(当時の社名は(株)フジコンサルト)で、創業者である池田典義(現・創業者最高顧問)は当時、ガソリンスタンドを訪ね歩き、ニーズを尋ねてまわっていたそうです。そのなかで、ガソリンスタンドが支払いなどのオペレーションに四

苦八苦している状況を目の当たりにして、勘定系を主体とした情報処理システムを開発。以来、そのシステムの販売に注力して石油・エネルギー業界における売り上げを着実に伸ばしていったのです。おかげで、今は全国のカンパニーの3割程度に当社のシステムが導入されており、これが大きな経営の柱になっています。

現在は石油・エネルギー業界だけでなく、金融、製造・制御・組込・宇宙、流通・サービス、通信・メディア、建設・不動産、官公庁といった幅広い業種の企業・団体に、システム設計・開発、運用・監視、さらには最先端の技術を活用したクラウドサービスなどを提供しています。たとえば宇宙開発分野では、JAXA(宇宙航空研究開発機構)と業務提携し、人工衛

星に関するシステム設計、軌道上確認試験、地上系通信の試験・検査などを展開しており、小惑星探査機「はやぶさ」のアンテナ開発にも携わりました。

そうした事業を展開する一方で、自社ならではの商品やサービスの開発にも注力しています。昨年からコロナ禍にあつては、一社でも多くの企業を下支えしたいという思いから、各企業の状況に応じて的確なアドバイスを実施すべくテレワークツール支援専用窓口を設置。また、CO₂データ分析サービスを自社開発するなどしてきました。いずれも当社のデータセンターの機能を最大限に活用したもので、たとえばCO₂データ分析サービスについてはデータセンターと接続することで、AI(人工知能)が室内環境を見える化し、換気が必要になるとアラートを出す仕組みなどを搭載。企業の会議室はもちろん、学習室などでの利用も想定しており、おかげさまで順調に導入件数は増加しつづけています。

多様化するサイバー攻撃に備えセキュリティ関連の情報を発信

当社では近年、セキュリティ

関連のソリューションにも積極的に取り組んでいます。その背景にあるのはサイバー攻撃への危機感です。いまやITはどんな企業にとっても欠かせないものになっていますし、企業の大小を問わず多くのビジネスがグローバル化したり、サプライチェーンの一端を担ったりしています。もはやいつどこからサイバー攻撃を受けても仕方がないような状況になっているのです。とはいえ、サイバー攻撃などでは、業務に多大な支障を来すだけでなく、取引先からの信頼も損なってしまう。上場企業であれば、株価の暴落と

いったダメージを被ることもありますし、なかには利益の半分以上を失ってしまった例もあるほどです。そうしたなか、私は前職での経験を生かし、2019年から当社のセキュリティ事業の立ち上げなどにかかわっています。当社はもともとシステムベンダーとして多くの提携先のセキュリティ関連商品を取り扱っていましたが、その情報は顧客の業種ごとに分断されており、あまり共有されていませんでした。

そこで、そういった情報をあらためて収集して整理し、カタログを作成するなどして総合的に顧客に提案できる体制を整えていったのです。現在、このカタログにはカテゴリ別に30弱のセキュリティ関連商品を掲載し、その特徴をできるだけわかりやすく紹介しています。それら数あるセキュリティ関連商品のなかで、私たちがもっとも信頼しているサービスのひとつが、(株)ブロード(東京都千代田区)が日本総代理店を務める米国発のセキュリティ製品「HP SCS E(旧Bromium)」です。これはエンドポイント内部から隔離された仮想環境でウェブサイトを閲覧したり、文書ファイルを安全に開いたりすることでエンドポイント本体を守るシステムで、たとえ開いたファイルがマルウェアであっても仮想環境で開いているため、エンドポイント本体に影響はなく、そもそも感染することがないという機能を有しています。

この今までになかったコンセプトのセキュアな製品は、米国内や官公庁などで使用されています。私自身、はじめてこの商品に出会ったときにはそ

の画期的なアイデアや技術に驚きましたし、今もエンドポイント対策に関して、これに勝るものはないと思っています。実際に国内におけるHP SCS Eとしての最初の契約を手掛けることができました。しかし、昨今のサイバー攻撃は実に多様化しており、HP SCS Eだけではすべてのサイバー攻撃からシステムを守ることはできません。そこで、当社では顧客からのヒアリングを通してそのニーズを詳細に分析、そのうえでこのカタログを活用しながら顧客に最適なセキュリティソリューションを提案するようになっています。また、いずれは脆弱性診断やセキュリティに関するコンサルティングサービスなども実施できるような体制を整えたいと思っています。たとえばその一環として、最近のセキュリティ攻撃を簡潔に紹介し、企業の業種や規模に応じて必要とされるセキュリティ対策が一目でわかるようなコンテンツを作成し、有益な情報発信を行うことも視野に入れています。

こうした取り組みを通して、これからも地域内外の企業のIT環境をシッカリと下支えしていきたいと思っています。

もう無駄な時間と費用は「0」にしましょう



エンドポイントのサイバー対策に関する費用や専門家は、もう必要ありません。100%* 防御し、レポートします。是非ブロードにお問い合わせください。

*2013年以降、Bromiumは推計20億以上のMicroVMが実行されましたが、侵害報告件数はゼロです。(Bromium社調べ) 詳細は[BROAD Security Square]で <https://bs-square.jp/columbus>

株式会社ブロード 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスヒル永田町7F TEL: 03-6205-7463 (代表)



今までの「常識」は、
すでに「非常識」!